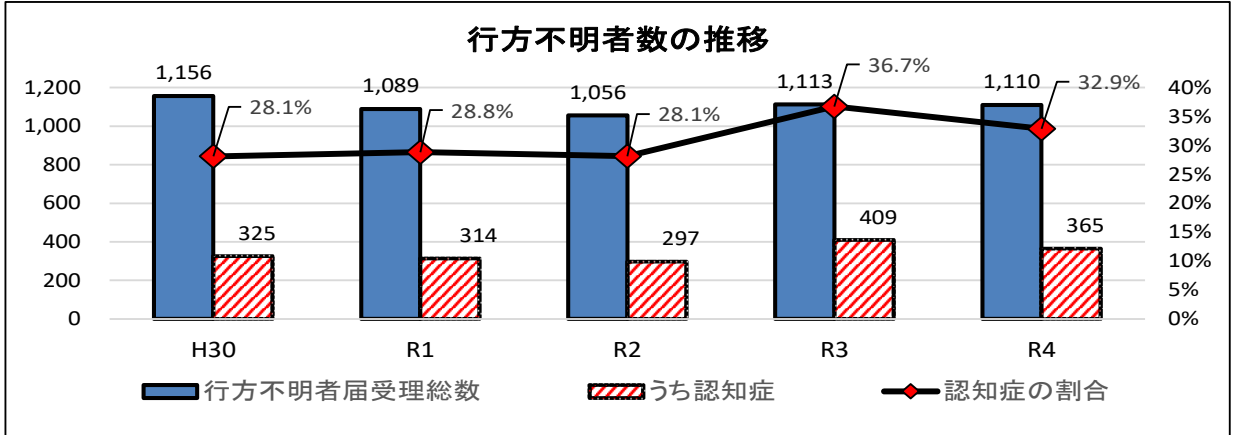


令和4年中の奈良県における行方不明者の状況について

1 行方不明者の状況

- ・ 令和4年中に警察に行方不明者届が出された人の数は1,110人で、前年に比べて3人減少している。
- ・ 男女別では、男性が681人で全体の61.4%、女性が429人で全体の38.6%を占めている。
- ・ 認知症に係る行方不明者は365人で、前年に比べ44人減少しており、全行方不明者に占める割合も減少している。



○ 年齢層別

年齢層別	令和4年	
	件数	構成比
9歳以下	17	1.5%
10歳代	206	18.6%
20歳代	192	17.3%
30歳代	98	8.8%
40歳代	55	5.0%
50歳代	52	4.7%
60歳代	62	5.6%
70歳代	169	15.2%
80歳以上	259	23.3%
合計	1,110	100%

○ 原因・動機別

原因・動機別	令和4年	
	件数	構成比
疾病関係	467	42.1%
うち認知症	365	32.9%
家庭関係	207	18.6%
事業・職業関係	90	8.1%
学業関係	27	2.4%
異性関係	7	0.6%
犯罪関係	4	0.4%
その他	221	19.9%
不詳	87	7.8%
合計	1,110	100%

※ 表の数値は小数点以下第2位を四捨五入して表記

2 行方不明者の所在確認の状況

- ・ 令和4年中に所在が確認された行方不明者は1,065人で、うち認知症に係る行方不明者は363人
- ・ 認知症に係る行方不明者は、受理当日に95.6%、受理から1週間以内には97.8%が所在確認され、所在確認総数と比較して早期に所在確認されている。

令和4年	合計	行方不明者届受理から所在確認等までの期間								
		受理当日	2日～7日	8日～14日	15日～1か月	1か月～3か月	3か月～6か月	6か月～1年	1年～2年	2年～
所在確認総数	1,065	820	99	20	24	28	3	5	5	61
うち認知症	363	347	8	2	0	6	0	0	0	0